

## H31春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 東加積地区

| 提言等の項目     | H31春に開催の「市長と語る会」   |  |
|------------|--|--|
|            | 皆様からいただいた主な提言等   | その際の回答要旨   |
| ①産婦人科      | 全国的に産婦人科医が不足しているようだが、滑川市には産婦人科医が何人いて、出産できる場所は何力所あるのか。  | 現在、滑川市で出産できる場所は、厚生連滑川病院のみです。厚生連滑川病院の産婦人科医も人手が不足しており、関係各所へ増員を要望していますが、産婦人科医のなり手がおらず、免許を取得しても県外の病院へ行ってしまう傾向にあり、難しい状況です。今後も、あきらめずに要望していきたいと思えます。      |
| ②養豚場       | 魚津市にある養豚場からの臭気が強く、困っている。早月川の大切な水源でもあるので、魚津市長へ直接働きかけてもらうことはできないか。   | わかりました。早月川へ排水されていることから、早月川の合流点で水質分析を行うとともに、問題があれば県等へ申し入れをしていますが、特に臭気についてはなかなか改善されていない状況です。   |
| ③人口減少      | 滑川市全体では転入者数が増えているとのことだが、人口はまちなかに一極集中しており、山間部は過疎化している。市の人口一極集中を緩和するような施策は考えているのか。                                     | 民間宅地業者は、人の集まりやすい学校周辺の開発を進めています。利益の追求を目的としておりますので、宅地開発を斡旋することは難しいです。転入者が増えるということは、転出した町の人口が減っているということです。滑川市としては、子どもの数を増やすことで、社会全体を元気にしていきたいと考えています。 |
| ④高齢者の免許返納  | 高齢者の自動車運転免許返納について、自動車運転免許は3年に1度更新しているため、講習を受けて運転に不安を覚えた時に返納すべきであり、年齢を基準にして返納するものではないと思う。                             | 高齢者の運転による重大事故が問題になっていますが、東加積地区のような中山間地域は、車が無ければ出歩くことが難しいです。免許を返納した結果、高齢者の引きこもりにつながる危険もありますので、気を付けて運転してほしいと思えます。                                    |
| ⑤東加積小学校の存続 | 東加積小学校は子どもの数が減少しており、このまま学校を存続していけるのかどうか不安がある。地域の働きかけには限度があり、住民の意識にも差があるため、危機感を持っている。市から、東加積小学校の存続に向けて、アドバイスをいただけないか。 | 東加積小学校は、先生や地域の方と密な交流を築いている点が魅力です。存続のためには、地域と学校が密接に活動し、子どもたちができるだけ地域の方々と関わることによって人間関係を作ることが、最も良い対策であると考えています。                                       |

## H31春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 東加積地区

| 提言等の項目            | H31春に開催の「市長と語る会」   |  |
|-------------------|--|--|
|                   | 皆様からいただいた主な提言等   | その際の回答要旨   |
| ⑥子どもたちの学習スペースについて | 市民交流プラザ1階のスペースについて、学習のためのスペースではないことは承知しているが、夜間は学生の利用がほとんどである。机1台につき椅子は2脚あるが、電気スタンドが1台しかないので、電気スタンドをもう1台設置し、子どもたちが夜でも勉強できる環境を整えてもらえないか。 | 市民交流プラザ1階については、より良い活用方法がないか文化・スポーツ振興財団と共に検討したいと思います。電気スタンドの設置については、前向きに検討します。また、中滑川駅前に整備予定の施設には学習スペースを作りたいと考えています。 |
| ⑦新川古代神の歌い手        | 新川古代神の歌い手が高齢化のため減少している。松坂踊り保存会で小学生に新川古代神を教えているが、歌い手がいなければ、新川古代神の存続は難しい。市では歌い手について、どのような対策を考えているのか。                                     | 新川古代神の歌い手の高齢化についてはお聞きしており、今後新川古代神を保存していくためには歌い手の後継者を確保する必要があると考えています。市内で三味線などを嗜んでいる方に声掛けをしたいと思います。                 |